

『 いっぱい入れよう 』 1歳児 4月



エピソード

A 児と B 児が保育者と一緒に園庭を散歩していました。クヌギの雄花が地面を覆いつくすようにたくさん落ちているのを見つけたので、A 児は保育者と一緒にお椀や小鍋に雄花を入れ始め、入れ物にたくさん入れて楽しんでいました。その様子を B 児はじっと見ていて、保育者が「Bちゃんも一緒にやる？」と誘いかけてましたが、B 児は首を横に振って、触ろうとしませんでした。その間も A 児はひたすら入れ続けていて、器からこぼれ落ちるほどでした。「うわー！Aちゃんすごいね！山盛りいっぱいだね！」と保育者が驚くと A 児が嬉しそうに笑い、B 児も嬉しそうにニコッと微笑みました。もう一度「山盛りいっぱい、Bちゃんもしてみる？」と保育者が聞くと、今度は「うん」と頷き、A 児の隣で入れ始めました。A 児と同じようにこぼれ落ちる程の雄花を入れると、保育者の方を見ながら雄花を指差して「んー！」と嬉しそうでした。

保育者の思い

- ・雄花の多さとフワフワの感触に保育者も嬉しくて一緒に楽しんでいました。
- ・4月入園のB児は、初めてのことに少し抵抗を感じている様子だったので、保育者や友達の楽しそうな姿を見て、興味を持ってもらえたらと思いました。
- ・子どもの姿を優しく受け止め、楽しさに共感しながら遊びを楽しんでいきたいと思います。

子どもの育ちや学び

- ・手で雄花を掴んで入れることで雄花のフワフワした感触を楽しみながら手の感覚が育っていきます。
- ・器にいっぱい詰め込む事で満足感を味わっています。
- ・友達のしていることを見ることで興味をもち、自分もやってみたいと思うようになります。
- ・自分のしていることを身近な大人に認めてもらうことで自信や安心感へとつながります。

家庭だったら・・・

道に落ちている葉っぱや小石などを拾ったりするのが好きだったりしませんか？ビニール袋をポケットやカバンに忍ばせておいて拾った物を入れたり、一緒に見たりして楽しさを共感すると嬉しいと思います。